

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	412効率的で健全な行財政運営の推進		
施策のねらい (めざす姿)	最小の経費で最大の効果を生み出す行政運営が行われています。 年間の支出をその年の収入でまかなう財政運営が確立されています。		
基本目標	4計画の実現のために	施策担当マネージャー	総務企画部次長
政策	41計画の実現のために	マネージャー氏名	山崎正史

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	厳しい財政状況に対応するため、より一層の財源の確保と歳出削減を目指す。	③改革・改善内容	26年度決算時点での市の財政状況は健全な状況であるが、公債費の増や少子高齢化の進展等に対応すべく、より一層の財源確保と歳出削減を行う。
②①に基づく取り組み結果	財源の確保と歳出削減を行い、25～26年度の経常収支比率は95.0%未満を維持した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市の行財政運営全般	意図(対象をどうするのか)	効率的で健全な状態とする。
②施策の概要	行政評価に基づき施策等を不断に見直すとともに、行財政改革関連計画を着実に実行し、効率的で健全な行財政運営を推進する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化の進展に伴う経費の増や、公共施設の耐震化や学校給食センター建替など必要な大規模事業を実施したことに伴う公債費の増が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	補助金や起債を活用した事業選定を行うとともに、財源確保と歳出削減に努め、経常収支比率は95.0%未満を維持した。							
②施策成果指標	指標名称			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	経常収支比率	%	89.9	91.8	90.1	95.0	
	ii	市職員の市民への対応が良くなったと答えた市民割合(市民意識調査)	%	—	24.3	—	28.0	
	iii	職員一人あたりの人口	人	158.4	160.2	158.7	160.3	
③基本事業成果指標	i	将来負担比率	%	0.7	7.7	16.7	55.0	
	ii	実質公債費比率	%	4.1	2.7	1.4	5.0	
	iii	経常収支比率	%	89.9	91.8	90.1	95.0	
	iv	「後期基本計画」目標達成率	%	—	—	—	80	
	v	行政の簡素化や事務の合理化が進んだと思う市民割合(市民意識調査)	%	—	16.1	—	22.0	
	vi	職員数	人	691	688	696	673	
	vii	行政の簡素化や事務の合理化が進んだと思う市民割合(市民意識調査)	%	—	16.1	—	22.0	
	viii	市職員の市民への対応が良くなったと答えた市民割合(市民意識調査)	%	—	24.3	—	28.0	
	ix							
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算				
事業費(千円)	5,430,708	4,389,445	(単位:円) 40,404 円	3,432,538				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	人口に対する職員数の少なさでは、県内37市中2位を維持しているが、業務量の増大や市民サービスの観点から職員数の削減も限界にきている状況。		
②総合評価	1達成	③総合評価の理由	25～26年度の経常収支比率が95%未満を維持しているほか、財政健全化判断比率(将来負担比率、実質公債費比率など)も全て基準値内であり財政状況は健全な状況である。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	→ 維持
③特に重点化する事務事業	減債基金積立に要する経費		
④上記方向性の説明	コストは増加させずに、今までにも増して効率的で健全な行財政運営を行うため。		